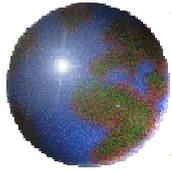


JGAP基準開発の最新動向

日本GAP協会 技術委員会
報告
GAP Japan 2012

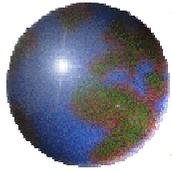


JGAP

農場用

管理点と適合基準

【茶】2012



JGAP【茶】2012について

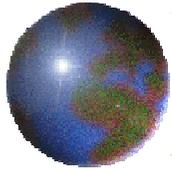


<JGAP茶 改定の経緯>

- 「農場用 管理点と適合基準 茶」は、茶の農場の適切な管理基準を定めたものであり、3年に1度の見直しを行うことが定められており、今回の改定はそのためのものである。

<技術委員会 審議の経緯>

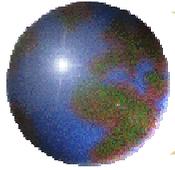
- 2011年 3月11日 第1回 日本緑茶部会
- 2011年 6月 8日 第2回 日本緑茶部会
- 2011年 8月10日 第3回 日本緑茶部会
- 2011年 9月 5日 第4回 日本緑茶部会
- 2011年10月28日 第5回 日本緑茶部会 パブリックコメント（案）完成
- 2011年11月30日 パブリックコメント募集開始
寄せられたパブリックコメント 81件
- 2012年1月 パブリックコメントへの対応を技術委員で再審議
- 2012年1月12日 理事会提出案の完成
- 2012年1月20日 理事会で承認
- 2012年3月1日 審査・認証開始



JGAP技術委員 日本緑茶部会



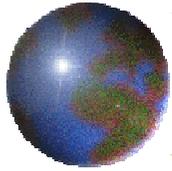
役職	氏名	略歴・所属組織など
委員長	岩元明久	個人としての参加 元:農林水産省 東海農政局長 現:公益社団法人 大日本農会 事務局長
日本 緑茶部 会委員	佐塚 高	前:静岡県経済農業協同組合連合会 茶業部長
	酒瀬川洋児	鹿児島県経済農業協同組合連合会 茶事業部考査役次長
	荒井昌彦	株式会社伊藤園 執行役員 農業技術部長
	田實菜穂子	ハラダ製茶株式会社 品質管理室主任
	豊田富士雄	豊田肥料株式会社 代表取締役社長
	袴田勝弘	日本政策金融公庫 情報戦略部テクニカルアドバイザー
	小澤良和	株式会社福寿園 CHA研究センター 安全保証部長
	太田哲朗	農事組合法人桂茶生産組合 理事 JGAP団体事務局責任者
	松倉大輔	有限会社深緑茶房 取締役



JGAP【茶】2012の特徴



- 1. 仕上茶(消費者向け商品)の管理点を追加(E.仕上茶専用項目)**
 - ・消費者向けの商品にJGAP認証農場マークが表示可能となった。
- 2. 放射能への対応を関係する管理点到追記(3.3.2/3.4.2/4.2.1/5.1.5/5.1.6)**
 - ・商品出荷・土・水・肥料(敷き藁等含む)等の管理点到追記
- 3. 茶工場の食品安全対策に重点管理手法を採用(8.2.2/E8.2.6)**
 - ・HACCP的な考え方を導入することにより、リスクの高い危害要因の管理漏れを確実に防止できるようにした。
- 4. 緑茶に加えてウーロン茶、紅茶を品目として追加**
 - ・JGAP日本緑茶 → JGAP茶 の表題に変更。
- 5. 農水省のGAPの共通基盤に関するガイドライン(茶)に対応**
 - ・知的財産の保護、鳥獣害対策、外来雑草対策、危険物の管理等を追加
- 6. グローバルGAPとの同等性はとらず、英語に翻訳して海外へ発信**
 - ・茶のGAP認証件数は、JGAPが世界で1番多いため世界標準を狙える。

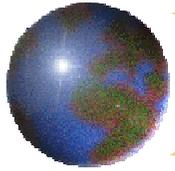


JGAP

農場用

管理点と適合基準

【穀物】2012(近日発行)



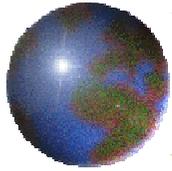
JGAP【穀物】2012(近日発行予定)について

<JGAP穀物 改定の経緯>

- 「農場用 管理点と適合基準 穀物」は、穀物の農場の適切な管理基準を定めたものであり、3年に1度の見直しを行うことが定められており、今回の改定はそのためのものである。

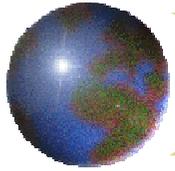
<技術委員会 審議の経緯>

- 2010年 3月19日 第1回 穀物部会
- 2010年 8月18日 第2回 穀物部会
- 2010年12月22日 第3回 穀物部会
- 2011年 2月 23日 第4回 穀物部会
- 2011年 8月 4日 第5回 穀物部会
- 2012年 3月 12日 第6回 穀物部会 パブリックコメント(案)完成
- 2011年 4月 25日 パブリックコメント募集開始 寄せられたコメント 45件
- 2012年 7月2,3日 実証審査
- 2012年 8月上旬 理事会提出案の完成予定
- 2012年 8月下旬 理事会で承認予定
- 2012年 9月 1日 審査・認証開始予定(第2.1版は2013年8月31日まで審査可)



JGAP技術委員 穀物部会

役職	氏名	略歴・所属組織など
委員長	岩元明久	個人としての参加 元：農林水産省 東海農政局長 現：公益社団法人 大日本農会 事務局長
穀物部会委員	佐藤智浩	JA山形おきたま 生産販売部米穀課／JGAP指導員
	千葉丈	個人としての参加 現：全農いわて営農技術課／JGAP指導員
	樋口恭子	新潟県長岡地域振興局 農林振興部普及指導員／JGAP指導員
	斎藤一志	農業生産法人いずみ農産 代表取締役社長／ 株式会社庄内こめ工房 代表取締役／株式会社まいすたあ 代表取締役
	坂野勝則	(株)ミツハシ 精米事業本部精米販売部／JGAP審査員補
	田村浩至	(株)ダイエー((株)消費経済研究所) 品質管理センター チーフテクノロジスト／ JGAP技術委員会青果物部会委員
	福永庸明	イオン(株) イオンアグリ創造株式会社 取締役本部長
	大木宏	株式会社イトーヨーカ堂 加工食品部 加工食品担当バイヤー
	小田原次洋	前：三菱商事アグリサービス株式会社 事業開発室



JGAP【穀物】2012の開発方針及び特徴

1. 精米工程専用項目、麦専用項目を追加(E.精米工程専用項目、F.麦専用項目)

- ・より高度な安全性を確保するため、玄米製造段階とは別に精米工程専用の管理点を設けた。
- ・麦については、カビ毒への対応項目、そばの混入防止項目を用意。
- ・遺伝子組換えについては、遺伝子組換え項目に移動。

2. 放射能に対応した管理点の用意(I.放射能管理専用項目)

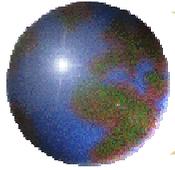
- ・放射能管理専用項目にまとめて追加(土壌、水、肥料等)。
- ・商品出荷(商品の回収)、農産物取扱い時の危害検討については既存の管理点に組み込み。(3.4.2、6.2、7.2)

3. 農水省:GAPの共通基盤に関するガイドライン(米・麦)に対応(3.2.2他)

- ・米トレーサビリティ法への対応、用途限定米穀・食用不適米穀の取扱い、麦のカビ毒対策、外来雑草対策、危険物の管理、保険加入等を追加

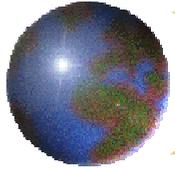
4. 環境保全型農業の重視(11.環境負荷を低減させる取り組み、12.環境を豊かにする取り組み)

- ・肥料に関する項目を「環境負荷を低減させる取り組み」として環境保全型農業の章に移動。(11.1)
- ・「環境を豊かにする取り組み」として温暖化対策の管理点を追加。(12.1.3)



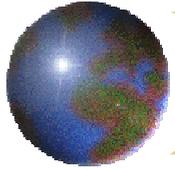
JGAP【穀物】2012の目次

JGAPの理念	p.1	C. 環境保全型農業	p.25
JGAP審査・認証の流れ	p.1	9. 水の管理	p.25
JGAP導入のステップ	p.2	10. 土壌の管理	p.26
前版の取扱いについて	p.3	11. 環境負荷を低減させる取り組み	p.26
著作権について	p.3	12. 環境を豊かにする取り組み	p.30
免責事項	p.3	D. 労働安全と福祉	p.32
言葉の定義と説明	p.3	13. 作業者の安全	p.32
【JGAP基本項目:A~D】			
A. 農場運営と販売管理	p.9	E 精米工程専用項目	p.36
1. 農場運営	p.9	F 麦専用項目	p.39
2. 計画と記録	p.11	H 遺伝子組換え専用項目	p.39
3. 販売管理とトレーサビリティ	p.12	I 放射能管理専用項目	p.40
B. 食の安全	p.16	参考ページ	p.41
4. 土・水・種苗の管理	p.16	関連法令と参考文献一覧	p.45
5. 農薬の管理	p.17		
6. 収穫・輸送にかかわる衛生管理	p.22		
7. 農産物取扱い(玄米工程まで)	p.23		



JGAP

団体事務局用
管理点と適合基準
2012



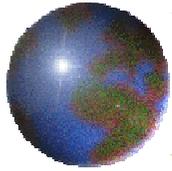
JGAP【団体事務局用】2012について

日本のGAP普及において、もっとも重要な手法である団体導入の要となる基準書である。

生産者団体としての品質管理体制を高めることを目指し改訂された。

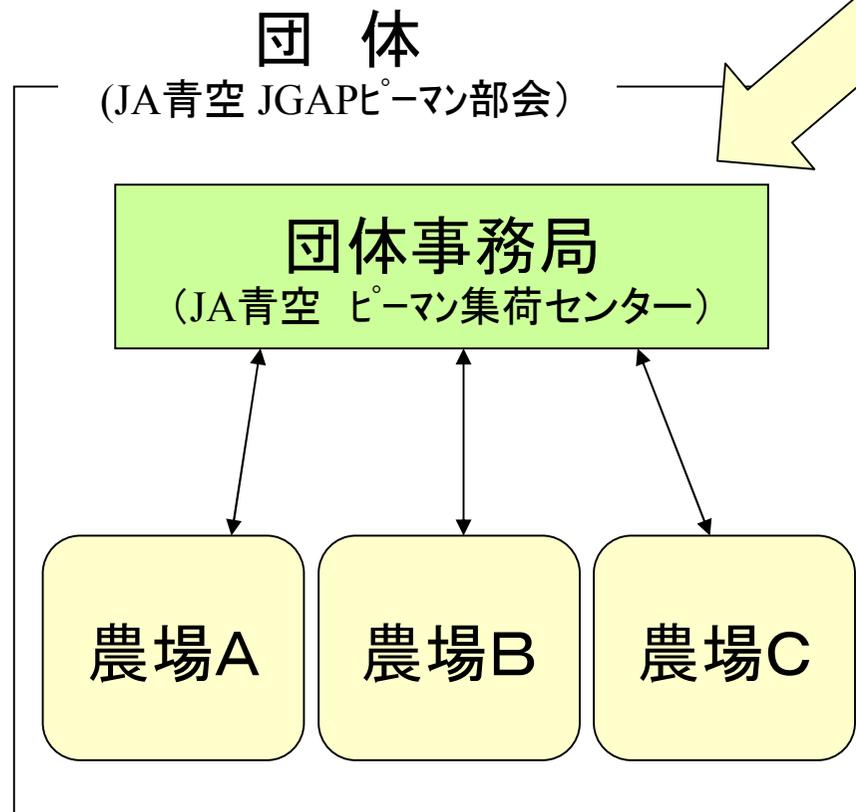
<技術委員会審議の経緯>

- 2012年1月5日 4部会合同技術委員会の開催
(審査認証部会、青果物部会、穀物部会、茶部会)
- 2012年1月下旬 メール回覧による審議
- 2012年2月12日 パブリックコメント募集開始 寄せられたコメント24件
- 2012年3月と5月 パブリックコメントへの対応をメール回覧により審議
- 2012年5月25日 理事会承認
- 2012年6月1日 審査・認証開始



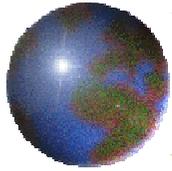
そもそも【団体事務局用】の基準とは何か？

JGAP【団体事務局用】 管理点と適合基準



- ・農場の基本情報(圃場・作物等)の把握
- ・農場とJGAP遵守について契約
- ・管理マニュアルの作成と周知
- ・内部監査の実施
- ・外部委託先の管理
- ・団体として販売管理
(トレーサビリティ、クレーム対応、回収)
ETC...

**団体の統治能力を
問う基準書である！**



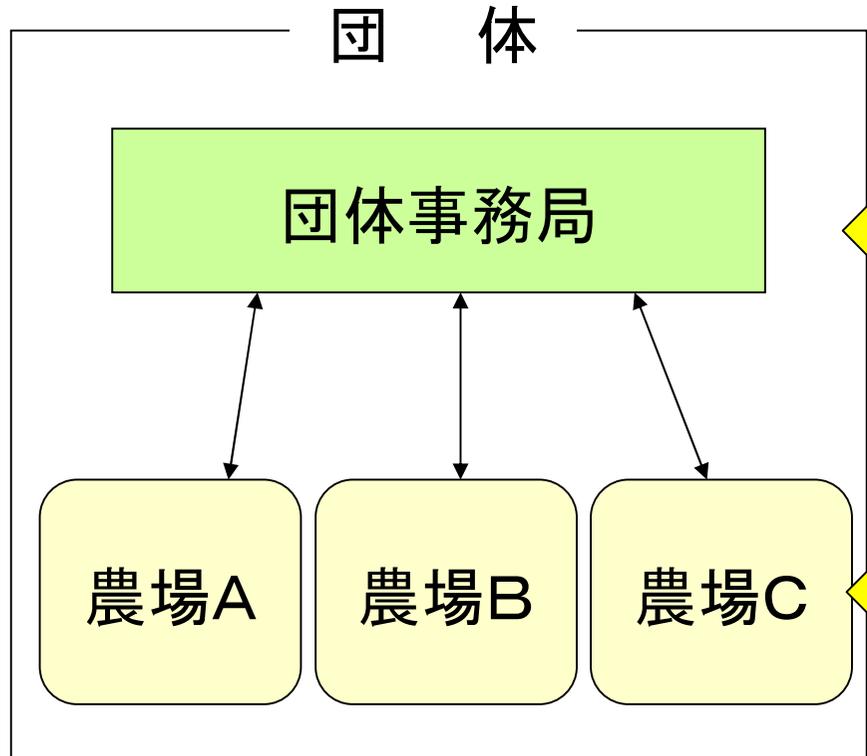
農場と団体事務局が農場管理を役割分担する

- ☆農場の負担が少なく済む＝効率的
- ☆管理マニュアル作りの基礎を提供

JGAP農場用 管理点と適合基準
【青果物】
138項目

要求

肥料等の事例・・・



責任

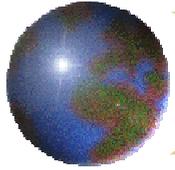
- ・土壌診断、施肥計画
- ・肥料成分の把握
- ・肥料の選定、安全性確認

※上記は本来農場のすべきことであるが
団体事務局が実施してクリアでもOK。

責任

- ・施肥の実施、記録
- ・肥料散布機の点検整備
- ・肥料の保管
- ・肥料の在庫管理

※農場側は上記についてのみ実施すればよい。



JGAP【団体事務局用】2012 特徴

1. 団体と農場/団体と出荷先の農産物の所有権・管理責任の明確化を強化

- ・(1.1) ※“引渡し”についてどこまでの工程が適用されるのか明確になる。

2. 団体・農場管理マニュアルの信頼性の向上

- ・団体農場管理マニュアルを中心とした団体統治を明確化(3.2)
- ・団体統治について理解ある者(内部監査員の有資格者)によるマニュアルの検証を追加(10.1)

3. 内部監査の信頼性の向上と効率化

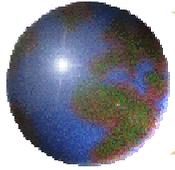
- ・団体農場管理マニュアルに基づく監査チェックリストを中心とした内部監査を明確化(4.2.1)
- ・団体事務局の責任者及び団体の代表者が内部監査に責任を持つことを明確にし、生産団体のマネジメント層が、最終的に団体の品質管理体制に責任を持つという姿勢を強化した。(4.5.1)

4. 外部委託先管理の信頼性の向上と効率化

- ・食品安全に関係して外部委託先の管理を必須とした。(2.2)

5. 商品の回収テストの実施を追加 → 有事の際に本当に使える手順を確立

- ・(8.2) ※事故(残留農薬、食中毒、異物混入等)が発生したことを想定して実施



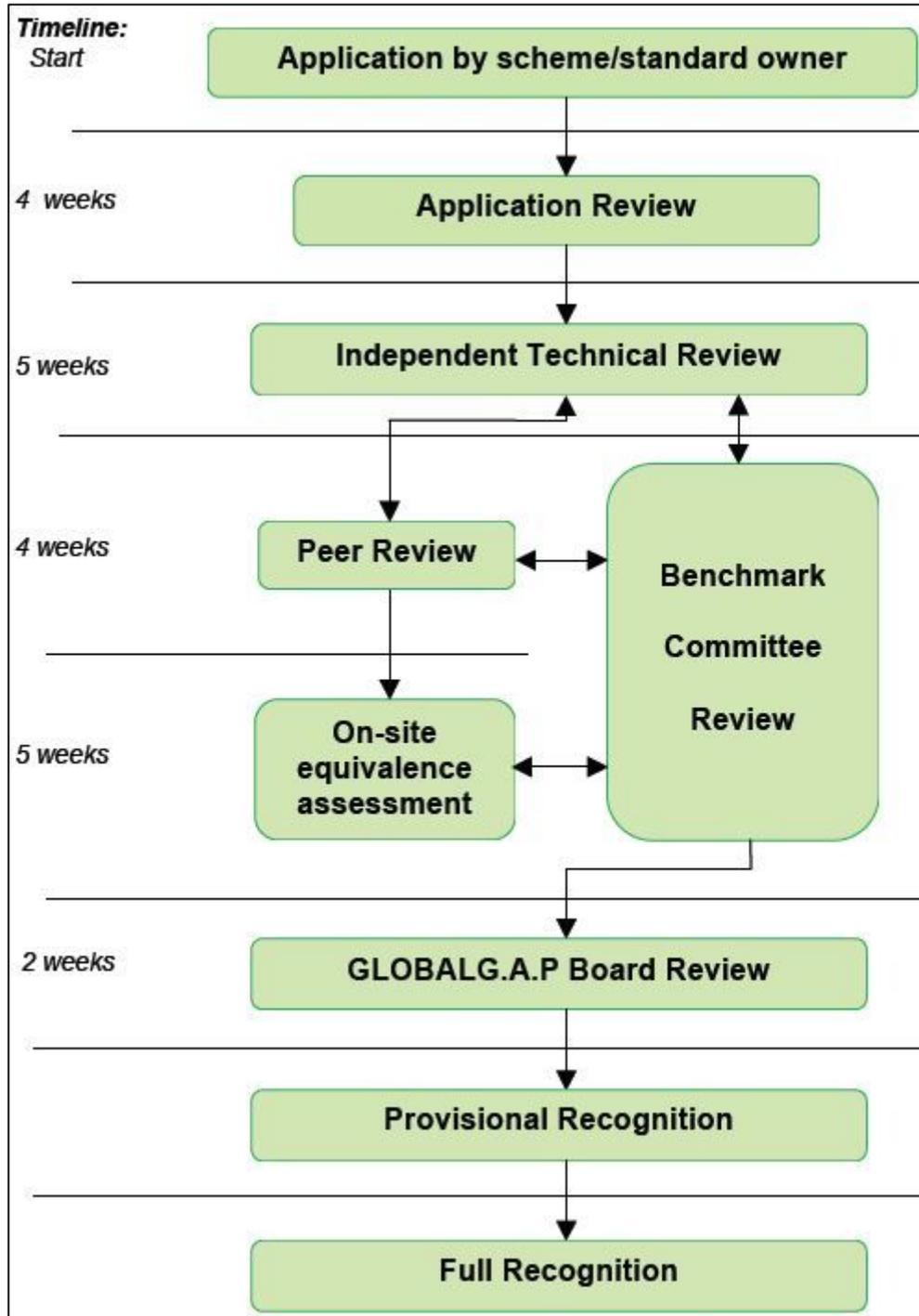
JGAP

農場用

管理点と適合基準

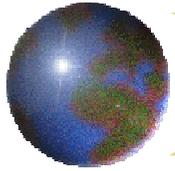
【青果物】2010

(JGAP+Gによる同等性認証)



JGAP+GとGLOBALGAPの
同等性認証
On-site Equivalence Assessment
の様子(2012年2月21日)



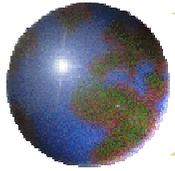


JGAP青果物とGLOBALGAPの同等性



- JGAP2010は、日本の生産環境、社会環境にもっとも適したGAPであるということと、GLOBALGAP同等性の両立を目指しました。
- 基本項目(国内項目)と海外項目(GLOBALGAP同等性項目)に分割しました。
- 基本項目は「日本の生産側と流通側の双方にとって“必要十分なGAP”」と位置付けて基準開発されています。
- 農業者は、販売先のニーズに応じて、取得する認証を選ぶことができます。

	農場管理の基準			審査・認証のルール		取得できる認証(書)
審査の形式① JGAP審査/認証	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">JGAP 農場用 管理点と適合基準 基本項目</div>		+	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">JGAP 総合規則</div>	=	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">JGAP認証(書)</div>
審査の形式② JGAP+G審査/認証	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">JGAP 農場用 管理点と適合基準 基本項目</div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">JGAP 農場用 管理点と適合基準 海外項目</div>	+	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">GLOBALGAP General Regulation</div>	=	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">JGAP+G認証(書) GLOBALGAP認証(書)</div>



JGAPとGLOBALGAPの同等性認証の歴史



• JGAP ver. 2.1

2007年10月認証開始



• GLOBALGAP ver. 2

同等性認証

* 同等性認証は
青果物版のみ

• JGAP ver. 2.2

2008年11月完成・未発表



• GLOBALGAP ver. 3

同等性認証

• JGAP2010(+G)

2010年7月認証開始



• GLOBALGAP ver. 4

同等性認証の
作業中

2011年から認証開始

JGAPの審査認証機関

ACCIS



両方のGAPの審査認証機関

